

三条市水防学習館 授業・研修・視察リスト

N o	講座名	時間（分）	一人料金(円)	対象	内容・教材	備考
1	川の恵み	10	0	小～一般	恵みと災いの両面を学ぶことで教育効果が認められています。ここでは豊かな水が生み出す恩恵を画像により理解してもらいます。	
2	二度の洪水災害	10～15	0	小～一般	1/1250の地図と写真パネルを活用し、洪水の発生過程を地理学的視点に立って時系列に説明します。	
3	国交省災害対応機材見学	15～20	0	小～一般	保管している災害対策車両（ポンプ車・照明車）を見学しながら、担当者(小柳建設・国交省)が説明します。	防災ステーション
4	洪水体験(車・ビデオ)	20	0	小～一般	7.13水害のビデオ視聴と水没車の水圧体験をしながら洪水災害を考えてもらいます。	
5	防災クイズ	15	0	小～中3	クイズに答えながら館内の展示品を確認します。学習のまとめとしても活用できます。難易度が低いクイズ：A 高いクイズ：B	幼保～小2：A 小3～中3：B
6	避難所で役立つグッズづくり	20～30	0	小～一般	避難所生活で使う物を、身近な道具で作ります。材料は事前にお伝えしますのでご持参下さい。	
7	避難所体験	30	0	小～一般	避難所の状況を疑似体験したり、非常用の便利グッズを実際に使ったりして、体験しながら学んでいきます。	
8	非常持出袋の作り方	20～30	1人 50円～	小4～一般	各家庭に合った非常持出袋を作ります。かさばらないために、実際に参加者全員が真空パック機を使います。	
9	課題解決学習	60	0	小4～一般	簡単な水害の説明を聞いた後、課題を示し、その課題を解決するためグループ(3～5人)で調べたり、考えたりしてもらいます。その結果を発表し合い多様な考えを共有してもらいます。	
10	テント張体験	40	0	小4～一般	災害時にプライバシーを守り、エコノミー症候群からも身を守るのはテントだと考えます。そこで、実際に家族用テントを張り、テント内の居住体験をします。	雨天時はできません
11	被災者の体験を聞く	20～40	諸費用 実費	小～一般	実際に被害にあわれた方の経験、体験を直接に聞くことができます。その後質疑応答も可能です。	講師謝礼：2,000円 他交通費実費
12	災害食試食	15～30	1人 100円～	小～一般	用意された非常食を試食し、感想を発表し合います。災害食は平時に食べ慣れておくことが大切です。	アレルギー要確認
13	火おこし体験	15～30	1人 50円～	小4～	グループで着火体験をします。着火できなかった場合はマッチ等で薪に火を付けます。教科の学習とつなげることもできます。	屋外(人数により雨天中止の場合があります)

14	車用ウィンドウ破壊体験① ～水没車からの脱出～	30	1枚 3,000円	小～一般	洪水時乗車している車が水没したり、運転を誤って川や池に落下してしまう事故があります。その時、すぐにウィンドウを割って脱出する必要があります。ここでは、実際に車に使われているウィンドウを割る体験をします。	
15	車用ウィンドウ破壊体験② ★破壊用道具セット	30	1枚 5,000円	小～一般	11の体験の後、ウィンドウを割る道具（部品製造から組立まで燕・三条製）を、ウィンドウ1枚につき1個お付けします。この体験に参加された方は通常価格4,100円の商品を3,000円にて販売します。	
16	パッククッキング	50	500円～	小3～	自分たちで火をおこし簡易な道具で調理します。調理後は試食できます。メニューは何種類かご提案できます。	屋外(雨天中止) アレルギー要確認
17	防災スキルスタンプラリー	30～	1人 200円～	小3～	薪割体験、救護方法、ロープワーク、非常食の試食など館内でのワークショップを体験しながらスタンプラリーをします。終了後全員にオリジナルステッカーを差し上げます。	
18	降雨体験	10～15	無料	小～一般	降雨装置により、1時間降水量20ミリ～150ミリの雨を体験できます。どのくらいの雨が危険なのか体感できます。	足元が濡れます

【ガイド・解説】五十嵐一浩（三条市水防学習館館長）前三条市立第四中学校長

【研修パック】

①	一般団体	○60分コース：1・2・3・4 ○30分コース：1・2・4
②	視察	○30分コース：2・3・4
③	小学生	○60分コース（Aタイプ）：1・2・3・4

○その他、組み合わせは自由にできます。

授業・研修 一覧表

○場所:三条市水防学習館 学習室 他 ○時間:30分～120分 ○受講生数:1～30人程度
○費用:材料費等は実費ご負担願います

No	授業・研修名	内 容	対 象	備 考
1	防災基礎講座	様々な災害があることを理解し、発災時の対応や日頃の備えについて基本的なことを学んでもらいます。	小～一般	
2	心の防災教育	何のために防災を学ぶのか考える中で、自己の生き方や他者との協力、思いやりの大切さを再認識します。防災を主題にした道德教育のひとつになります。	小～一般	【道德内容項目】 「主として他の人とのかかわりに関すること」思いやり・親切・人間愛、その他に関わる内容になります。
3	洪水災害	新潟県防災教育プログラムに沿って授業を展開します。 (T T可、指導案作成の支援可、カリキュラムマネジメント作成の支援可)	小～中学校	Mail、On-lineでの相談のみの対応も可能です。また、On-lineによる授業にも対応します。
4	地震災害			
5	津波災害			
6	土砂災害			
7	雪災害			
8	原子力災害			
9	命を守る避難の仕方	避難の仕方、災害地域マップ作り、マイ・タイムラインの作成、避難所運営を学んでもらいます。	小～中学校	作業学習が中心になります。
10	防災教育とSDGs	SDGsを学び実践することと、防災を学ぶことの関連性を考えてもらいます。	中～一般	
11	自然環境とエネルギー	地球温暖化による洪水災害の多発、温暖化を促進するエネルギー事情をグループワークで解き明かします。	中～一般	